

令和3年度科学研究費助成事業「新学術領域研究（研究領域提案型）」に係る事後評価結果

領域番号	3806	領域略称名	植物新種誕生原理
研究領域名	植物新種誕生の原理—生殖過程の鍵と鍵穴の分子実態解明を通じて—		
領域代表者名 (所属等)	東山 哲也 名古屋大学・トランスフォーマティブ生命分子研究所・教授		

(評価結果)

A+ (研究領域の設定目的に照らして、期待以上の成果があった)

(評価結果の所見)

本研究領域は、植物の新種誕生に至る原理を新しい技術や視点で捉え、世界をリードするオリジナリティの高い研究を展開し、想定以上の優れた成果を上げた。領域代表者の強力なリーダーシップの下、情報科学、ライブセルイメージング、有機合成化学や構造生物学などのブレークスルーテクノロジーを領域内に積極的に取り入れ、細胞生物学と融合した共同研究を推進することで、多くの知見を生み出したことは特筆に値する。特に、植物の生殖過程において多段階に配置された「鍵と鍵穴」の分子認証機構の実態を、世界に先駆けて次々に解明したことは、高く評価される。人材育成においても、女性研究者や大学院生をはじめとする若手研究者への支援を積極的に進め、当該研究分野における研究者の育成に大きな貢献を果たした。

今後、本研究領域の極めて優れた成果を基に、異種植物種の交雑と誕生した新植物の存続を可能にする未だ未解明に遺されたシステムの分子作動実態の解明、人為的改変を通じた新種の作出や、地球環境や食糧問題への貢献が進展していくことが期待される。